

“拓く”

平成23年 3月 14日 NO. 7
小松市立串小学校校長室より

冒頭に当たって、まず「東日本大震災」の被災者の皆様にお見舞いを申し上げますと共に、犠牲者の皆様のご冥福をお祈り致します。また、被災地域の1日も早い復興を願っております。

＝ 67名の巣立ち ＝

1月は大雪で、毎朝外を見ると雪が降り積もっていました。そのため毎日雪の始末に追われ屋根雪も下ろしました。しかし、不思議なことにその雪も、2月4日の立春を過ぎるとピタリと止んで、少しずつ春の気配を感じるようになってきました。2月には春らしい温かな日もあり、春の明るさを感じることができました。3月には冬の戻りも多少はありましたが、確実に季節は移り変わっています。そして3月17日（木）は、本校の卒業式です。67名の子ども達が本校を巣立っていきます。卒業は小学校のゴールであると同時に、中学校へのスタート地点でもあります。



小学校で培った力をバネにして、新しい中学校という生活に立ち向かっていって欲しいと思っています。どんなことがあっても挫けず、自分に自信をもって胸を張って進んでいくことを願っています。

保護者の皆様におかれましては、お子様の卒業を心より喜んでいらっしゃることでしょう。子どもの心のより所であるご家庭あっての学校生活です。6ヶ年の間本校の教育活動にご理解・ご協力くださいまして、本当にありがとうございました。中学校へ進学しても、ご家庭と学校との連携は、より一層必要かと思っておりますのでどうかよろしくお願い致します。

＝ 6年生を送る会 ＝

3月1日（火）に、6年生を送る会がありました。5年生が主体的に動いて、企画・立案・実行とやってくれました。2年生の「シンドバッドの冒険」では、元気な歌が印象的でした。1年生の「おむすびころりと歌」は、一人ひとりの動作が工夫され気持ちがこもっていました。4年生の合奏は、息の合った演奏で気持ちが一つになっていくように感じました。3年生の串町の伝統文化では、町の先生に教えていただいたことを自分達のものにして自信をもって発表していました。

6年生はさすが卒業学年、みんなに感謝の気持ちが伝わってきました。そして、会を運営してくれた5年生。司会の人達は堂々と自信をもって進行してくれました。また、幕間を利用して素早く力を合わせて道具の出し入れをしているのも見せていただきました。ステージを中心とした飾り付けも素敵なもので、会の雰囲気盛り上げてくれました。何よりも休憩の時、みんながざわついていましたが、じっとみんなの気づきを待っていたのはとてもよかったと思います。みんなもパッと気づいてサッと静かになれるといいですね。

このように6年生はみんなからお祝いの気持ちを届けられて卒業式そして中学へと進んでいきます。また、5年生は6年生を送る会に取り組んだ力を土台として、最高学年へと進んでいきます。それぞれの学年の人達も次の学年への心構えをしっかりと創り上げていって欲しいと思っています。

＝市の学力調査について＝

1月13日（木）に実施された市の学力調査（3年：国語・算数，5年：国語・算数・社会・理科）の結果が届きましたので，本校の概要をお知らせします。達成率（目標値に何人が到達しているかという割合）で小松市平均と比べた様子と，本校の課題について述べます。

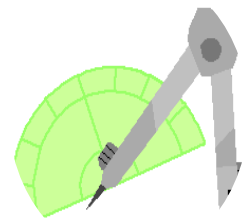
3年生・5年生ともに達成率は小松市と比べた場合，5年生の理科はやや上回り，その他の教科は平均して下回るものでした。

本校は「話す力・聞く力」や「数と計算」や「図形」等の基本的なこと，「わが国の農業」等の米作りの作業や自給率グラフの読み取り，「温度による空気や水のかさ」等実験を通して学習したものは比較的よくできています。

「説明的な文章・文学的な文章」を読み取る力，「長さや道のり」等の量と測定の力，「数の仕組み」等の数量関係の力，「水産業や工業生産」等の体験できないことを理解する力等に課題があります。

この学力調査の結果を全職員で共通理解して，特に課題となる部分については，焦点を当ててこの学年末に手立てを講じています。また，学力調査ばかりでなく，学校の教育活動全体を振り返り本校の児童の実態をしっかりと把握して，本校の子ども達に「生きる力」を基盤にした「確かな学力」が育つよう職員一同取り組んでいこうと思っております。

個人のデータについては，お子様に持たせてお返ししますので，お子様と一緒にご覧になって，今後に活かして頂ければありがたいと思います。



＝ 学校評価アンケートにご協力ありがとうございます ＝

6月の第1回アンケート，2月の第2回アンケートにご協力ありがとうございます。おかげで，第1回目は206名，第2回目は163名の保護者の皆様から回収させて頂くことができました。その概要を述べてみます。

〈十分あてはまる〉〈だいたいあてはまる〉をよい評価と捉えると

○11項目の中で6月と2月共に80%を越えているものは以下のようです。

「学校と家庭の情報の共有」「教師の学習環境の工夫」「児童の意欲・集中力」「児童の給食や清掃活動の自主性」「児童のきまりの尊重」「教師の学習方法の工夫」「教師の個に応じた指導」「学校施設設備の改善」。

特に「教師の学習環境の工夫」「教師の学習方法の工夫」そして「児童の給食や清掃活動の自主性」は，90%を越えるものでした。また，「教師の個に応じた指導」は6月には80%近くだったものが，2月には90%を越えるようになりました。

○11項目の中で6月と2月共80%に届かなかったものは以下のようです。

「児童の挨拶の状況」「児童の姿勢」「児童の言葉遣い」で，特に「児童の挨拶の状況」は約50%という状況でした。

○11項目の内「児童のきまりの尊重」を除いた10項目は，6月よりも2月の方が数パーセント伸びています。

このアンケート結果から，教職員の努力と児童の自主的・主体的な活動がよく評価されていることが分かります。反対に，児童の挨拶を中心とした基本的な生活習慣の改善が課題であることが分かります。ご家庭と連携して改善に向けて取り組んでいこうと思っております。

さて，卒業式と修了式を間近に控え，今年度も終了しようとしています。保護者や地域の皆様方のご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。そしてまた次年度もよろしくお願い致します。